

シラバス（授業計画）

学科名	動物看護科					コース名	動物看護コース		
科目名	動物看護学						必修・選択必修の別		必修
実施期	1年	前期	-	時間	後期	-	時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とする。	15 時間
	2年	前期	-	時間	後期	-	時間		
	3年	前期	-	時間	後期	15	時間		
担当講師	関 繭子								
	実務経験	有	動物病院にて勤務医として6年勤務。						
授業概要	・動物看護の中でも特に外科的な看護を中心とし、周術期の術前・術中・術後における動物看護師に必要な知識を習得する。内容は外科動物看護実習と連動しており、実習に臨むための予備知識としての意味合いも持ち、講義だけでなく、画像や動画、実際の器具等を用いることで理解を深める。							授業形式	演習
到達目標	・動物の痛みを理解し、ペインコントロールに役立たせることができるようになる。 ・麻酔モニターを使用した麻酔下動物の管理ができるようになる。 ・去勢手術、避妊手術の周術期における様々な補助ができるようになる。								
教科書・教材・服装等	授業プリント								
授業計画時間数	授業内容								
1	手術の準備と動物に対する手術前処置について学ぶ。								
2	麻酔薬について学ぶ。								
3	術後管理について学び、ペインコントロールの重要性を理解する。								
4	輸液管理について学ぶ。								
5	麻酔モニター①モニタリングの重要性と方法、ECGモニター、血圧モニター、パルスオキシメーターについて学ぶ。								
6	麻酔モニター②カプノメーター、体温モニター、尿量モニター、五感を用いたモニターについて学ぶ。								
7	去勢手術①去勢手術の意義、主な手術の流れや補助方法などについて学ぶ。								
8	去勢手術②手術にむけて、動画を用いて更に理解を深める。								
9	避妊手術①避妊手術の意義、主な手術の流れや補助方法などについて学ぶ。								
10	避妊手術②手術にむけて、動画を用いて更に理解を深める。								
11	外科的処置を必要とする疾患である乳腺腫瘍と子宮蓄膿症について学ぶ。								
12	創傷とその治癒過程、創傷の管理に必要な看護知識について学ぶ。								
13	骨折等の整形外科の補助に必要な知識を学ぶ。								
14	エコーの原理と画像診断、CTとMRIの原理と画像診断について学ぶ。								
15	総まとめテスト								
成績評価方法	出席率（80％を切るならば評価を一つ下げる）					定期試験	○	筆記試験	
	定期テスト・小テストの点数							実技試験	
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）							実施しない	
成績評価基準	A評価	定期試験や小テスト80点以上							
	B評価	定期試験や小テスト70点以上							
	C評価	定期試験や小テスト60点以上							
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合							